



秩父別町立秩父別中学校 学校だより

平成29年 3月24日発行 第30号

秩父別町2条2丁目 Tel 0164-33-2650

発行責任者：校長 廣瀬 一仁

編集：教頭 佐々 謙彰

本日で、平成28年度の学校教育活動が終わり、学年末休業に入ります。そして、生徒たちには一年間の学業や学校生活の成果を認める修了証書を、担任の先生を通じて渡しました。

今日のこの日は、互いに学年の修了を喜び、一年間の生活を反省し、学年末休業に入る心構えと、4月から始まる新学年への希望を持てるようになってほしいと思っています。

一年生は、入学以来一年の経験を確実に積み、すっかり中学生らしくなりました。

また、二年生は、学校の中堅として三年生を支え、頼もしさを身に付けました。

ともに、これからは歴代の卒業生の残した伝統を立派に継承し、来年の開校70周年の年に相応しく、秩父別中学校の一段の飛躍の担い手として活躍してくれると期待しています。

保護者の皆様には、今年一年間の本校教育活動へのご協力とご理解をいただき、心から感謝いたします。引き続き来年度もよろしく願いいたします。

地域の皆さまや関係各位ににおかれましては、子どもの見守りや健全育成、教育活動の充実に多くの支援をいただきました。

今後も、学校と家庭・地域がそれぞれの役割を果たすことで、進んで学び、正しく判断し、温かい心とたくましい身体をもった秩父別中学校の生徒たちをともに育てていきたいと考えております。本当にありがとうございました。

『3年生全員合格 15の春つかむ！』

3月17日に公立高校の合格発表があり、3年生12名全員が合格しました。小学校、中学校と一緒にだった皆さんが、いよいよ別々の道を進むこととなります。明るい未来に向けての第1歩を踏んでほしいと思います。

『転任のごあいさつ』

先日、文書でお伝えしたとおり3名の教職員が本校を去ることになりました。家庭・地域の皆様方にはこれまでたいへんお世話になりました。

校長 廣瀬 一 仁

3年間に渡り、皆様には大変お世話になりました。

13年ぶりの学校現場、初めての校長職ということで、不安でいっぱいの赴任でありましたが、着任してみると、保護者や地域の方々の温かい支援、そしてなによりも素直で一生懸命な生徒の姿に、忽ちその心配は無用であることがわかりました。

どこかしら私の故郷とも似ているその風土と町民の方々の気質にも親近感を大きく持てたこともあるかもしれません。

このような地域と学校で過ごせたことは私の大きな喜びであります。

重ねて、皆様に頂いたご厚情に感謝申し上げます。

秩父別で育ちゆく生徒たちのますますの飛躍と、保護者地域の方々、秩父別町の発展をこれからもお祈りいたします。本当にありがとうございました。

養護教諭 高橋 祥子

素直で、どんなことにも一生懸命に取り組む生徒と一緒に過ごすことができ、とても幸せな6年間でした。

保護者の皆様には、学校祭バザーでも本当にお世話になりました。PTA会員数減のため、メニューの削減や変更、学年縦割り作業など毎年のように変更があり、数々のご苦労をおかけしましたが、当日を乗り切れたのはPTA会員皆様お一人おひとりのお力添えがあってこそです。改めて感謝申し上げます。

生徒や保護者の皆様、地域の皆様のあたたかさや優しさに支えられ、充実した6年間を過ごすことができました。ありがとうございました。

学習支援員 五十嵐 瑞貴

社会人になって初めての1年間で不安なこともありましたが、素直で元気な生徒、優しい地域の方々や先生方のおかげで明るく充実した毎日をおくることができました。学習支援員としてできる働きは少ないですが、学習支援員だからこそできることを私なりに精一杯考え、実施しました。今後も「学習支援員」として来られる先生を温かく迎えてくださると嬉しいです。

秩父別町内に住んだことで、地域の行事等にも参加することができました。また、PTA研修旅行では小樽で食事や散策ができてとても楽しかったです。

社会人になって初めて、自分が中学生のころには知らなかったPTAの役割や仕事を知ることができ、近々両親に感謝の電話でもいれようかなと思いました。皆様のおかげで学びある1年間でした。いつか、さらに成長した姿を見せることができたら良いなと思います。1年という短い時間でしたが、ありがとうございました。